

第1回管内共同学校事務室長研修会

南予教育事務所

R5.6.15(木)

共同学校事務室運営リーダーの組織マネジメント能力の向上、並びに効率的かつ円滑な共同学校事務室運営につなげることを目的として、5月25日(木)に南予地方局7階第2会議室にて第1回管内共同学校事務室研修会を実施しました。

研修Ⅰ：令和5年度管内学校事務の推進計画について(次長より)

研修Ⅱ：令和5年度共同学校事務室指導訪問について(総務係長より)

研修Ⅲ：教育事務所からの事務連絡(総務課・教職員課の各担当より)

研修Ⅰ～Ⅲの後、次のような研修を行いました。

その研修の様子と受講者の声です。



■ 研修Ⅳ 次長講話(13:55~14:25)

「風通しのよい職場とは」

学校経営案にも、共同学校事務室運営案にも、よく出てくる「風通しのよい」という言葉。「なんとなくイメージはできるけど..」そんな自らの疑問を研修に取り入れてみました。

- (1) 「風通しのよい職場(事務室)」とは
- (2) 「風通しのよい職場」に求められているもの
- (3) 「風通しのよい職場」にするためには
- (4) 「風通しのよい職場」の問題点
- (5) めるま湯組織にしないために



【受講者の声】

○心理的安全性を高めることで、業務の効率化が図られ組織力の強化につながる。

○室長として、伝える力・聴く力・読み解く力を高めるとともに、相手に伝わりやすく、受け入れやすい言葉を選べる力を身に付けたい。個に応じた声掛けや個性を生かすことに留意しながら、温かい雰囲気をつくっていききたい。

○意識して情報や意思の伝達しやすい状態を構築することの大切さを学んだ。自分が所属する共同学校事務室の風通しのよさに何が不足しているのかを見直す機会となった。

○「風通しのよい職場」づくりは、チームとして本来持っている力を発揮し、業務を円滑かつ効率的に遂行するための手段である。「風通しのよい職場」づくりが最終目的にならないよう気を付けたい。

○本来の意図を履き違えてメリハリのない職場にならないように、目的の意義や組織の理想像を明確にした上で「風通しのよい職場」づくりに努めたい。

○室員一人一人が責任感を持って仕事の目的、成果を上げることを意識して、社会人としてのマナーを守り、相手の立場を配慮しながら自分の意見を言えるなど、思いやりのある職場づくりに向けてそれぞれが意識を高めていくことができれば、自然と職場の風通しはよくなると感じた。

■ 研修Ⅴ グループワーク(14:25~16:30)

「共同学校事務室運営について」

三間共同学校事務室(山本和弘室長)

川上共同学校事務室(上杉美奈子室長)

伊方町東部共同学校事務室(河野寿一室長)

3つの共同学校事務室の運営について発表していただいた後、5つの班に分かれて、それぞれの共同学校事務室運営案や具体的な取組について話し合いを行いました。



【受講者の声】

○室長になって2か月、うまくいかず悩んでいたことを聞いていただくことで、解決への糸口もつかめたので大変有難かった。

○共同学校事務室の運営について各室長の熱い思いを聴き、自分も身の引き締まる思いがした。



○室員の人材育成については、何事も室長自ら動いて示す姿勢が大事であると感じている。積極的に自己啓発に取り組む姿勢を示していきたい。

○室員のできていることよりも、できていないことに気を取られてしまいがちであることを改めて反省した。室員の頑張りに気付いて褒めることができるよう視点を変えて見ていきたい。

○ICTの活用は、業務改善にはとても重要なツールだと感じた。自分の技術でできることから始め、ICT技術の向上を図り、業務改善につなげていきたい。

○事務室の課題解決に向けて、お互いを尊重し、高め合いながら意見を出し合い、自室の課題である業務改善や人材育成につながるよう事務室運営をしていきたい。

○同じ立場の室長が互いに発表し、悩みを打ち明けることで、自分の運営案を俯瞰的に見つめ直すことができた。



期限内の「研修振り返りシート」の提出、ありがとうございました。昨年度、全部の共同学校事務室を訪問させてもらったので、それぞれの共同学校事務室の様子を思い浮かべながら読ませていただきました。

自分が「共同学校事務室運営案」を作ったり、「研修振り返りシート」を書いたりしていたときには思わなかったのですが、この立場になって皆さんからの提出物を読ませてもらうと、室長さんの考え方や悩み、取り組もうとされていることが文面からも伝わってくるものです。少しでも室長さん方の役に立てればと思っていますので、今後とも、気持ちのこもったレポートをお願いします。